



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

12月議会閉会

ひとり親世帯に臨時給付金

「少人数学級」の請願採択

15日(火)、12月定例市議会が討論・採決をおこない閉会しました。

日本共産党は35議案に賛成し、期末手当削減の2年度一般会計補正予算や、人事院勧告に準じた職員の期末手当削減、市民活動センターと市立武里南保育所、体育施設・都市公園の指定管理者の指定に関する議案など13議案に反対しました。

市教職員組合から提出された「少人数学級の実施を求める意見書」の請願(日本共産党6名・無所属1名紹介)は、賛成多数で採択されました。

議案等の賛否結果は、下表の通りです。

- 1世帯当たり5万円
- 2人目以降1人につき3万円

追加議案として「ひとり親世帯臨時特別給付金支給条例」が提案され全会一致で可決されました。

支給見込みは1874世帯(対象児童数2757人)で、1世帯当たり5万円、児童2人目以降1人につき3万円加算で申請は不要、12月24〜25日に振込予定です。総額1億2019万円で全額国庫補助です。

日本共産党 4件の意見書を提案

日本共産党は4件の国・県への意見書を提案しました。

精神障害者保健福祉手帳2級

党会派所属議員の紹介(議席番号順) 11月25日現在

日本共産党6名(坂巻勝則、卯月武彦、大野とし子、松本浩一、今尾安徳、並木敏恵) 新政の会9名(榛野博、石川友和、水沼日出夫、佐藤一、金子進、鬼丸裕史、滝澤英明、山崎進、河井美久)
※前進かすかべ6名(永田飛鳳、吉田稔、山口剛一、海老原光男、栄寛美、小久保博史) 公明党6名(木村圭一、鈴木一利、荒木洋美、武幹也、栗原信司、中川朗) ※NHK1名(酒谷和秀)
無所属3名(井上英治、古沢耕作、岩谷一弘) 欠員1名

保持者を重度心身障害者医療費助成制度の対象に拡大することを求める意見書(県知事あて)は採択されました。他3件は市民の切実な要求ですが、不採択とされました。

請願	意見書		主な議案	
	後期高齢者医療の窓口負担引き上げ反対	児童扶養手当制度の拡充	ひとり親世帯臨時特別給付金	職員の期末手当削減 一般会計補正予算(期末手当削減)
少人数学級の実施	◎	◎	◎	◎
コロナ感染症の緊急対策	◎	◎	◎	◎
◎ 反対・否決・不採択	◎	◎	◎	◎
○ 賛成・可決・採択	○	○	○	○
◎ 提出	◎	◎	◎	◎
◎ 日本共産党(6)	◎	◎	◎	◎
◎ 新政の会(9)	○	○	○	○
◎ ※前進かすかべ(6)	○	○	○	○
◎ 公明党(6)	○	○	○	○
◎ ☆NHK(1)	○	○	○	○
◎ 無所属イウエ(1)	○	○	○	○
◎ 無所属ルカリ(1)	○	○	○	○
◎ 無所属イヤ(1)	○	○	○	○
結果	◎	◎	◎	◎

並木としえ議員一般質問

女性管理職を大幅に増やし、政策に女性の視点を



12月8日、並木としえ議員は12月定例会市議会でジェンダー平等の春日部市を現すために①女性管理職を大幅に増やし、政策に女性の視点を ②請願採択を受け、性的マイノリティのための諸施策の充実を、の2点について一般質問をおこないました。

女性管理職比率は 県内39市中36位

春日部市の女性管理職比率は、部長級8・7%、次

長級5・1%、課長級6・1%、主幹級10・1%で、平均8・6%。さいたま市を除く県内39市中36位です。

「世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数2020で、日本は153カ国中121位。特に、女性の政治参加の低さ、管理職に占める女性比率の低さが指摘されている。女性が生き生きと社会に参加するためにも、女性管理職を大幅に増やし、市の政策に女性の視点を生かすことが必要」と主張し、市の考えを質しました。

総務部長は「幅広い視点で市民サービスを提供するために、バランスの取れた管理職登用を進めることが

重要です。現在、春日部市SDGs推進本部女性職員エンパワーメントプロジェクト作業部会で、女性活躍推進に関する計画策定作業を進めており、この中で女性管理職の数値目標を定めるなど、取り組んでまいりたい」と答弁しました。

性的マイノリティに「配慮」と答弁

先の9月議会で「パートナートレーニング制度をはじめ、性的マイノリティのための諸施策の充実を求める」請願が採択されました。

「春日部市も推進しているSDGsは『誰も取り残さない』という理念のもと、性による差別をなくす『ジェンダー平等』は5番目に掲げられている。性的マイノリティを市は認めている、というメッセージを発信し、

市民の理解を深めるためにもパートナートレーニング制度の導入をはじめ、諸施策の充実を」と求めました。

総務部長は「パートナートレーニング制度については、国や他市の動向を見て研究したい」という答弁にとどまりました。

市が発行する申請書については、特に必要ないものについては性別欄は設けていないことや、公共施設のトイレは、改築などの際に男性も女性も障害のある方も使える「多目的トイレ」を必ず設置するとともに、性的マイノリティの方の利用に配慮する周知啓発をしていく、と答えました。

また、中学生の制服について、学務指導担当部長は「本人や保護者の意向をよく聞いて対応している。制服の着用を強要しない」と答えました。

市立医療センター 卍735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
12/20(日) 山本内科医院 (内科系) 牛島956-1 電話755-7500 ゆりのき医院 (小児科系)
谷原1-16-20 電話752-3535 山崎整形外科 (外科系) 牛島1081-3 電話763-5011
12/27(日) 春日部内科クリニック(内科系) 備後東1-22-32電話738-6161 竹田クリニック
(小児科) 武里団地3-23-103電話735-4501 岩松医院(外科系) 栄町1-334電話761-0077

